

「早く歯科衛生士になりたい」

医療法人社団 若林歯科
歯科衛生士 山脇明夏

若林歯科が三河歯科衛生専門学校の実習先となり、3年が経ちました。

当院が実習先となった学生さんには、必ず「早く歯科衛生士になりたい！」と感じてもらえる実習にしていきたいと日々考えています。実習初日には朝礼時にスタッフの前で挨拶をしてもらっていますが、皆さん立派に実習の目的を含めて挨拶をしてくれています。目的をしっかりと持って臨む実習は成長も著しく、より多くの気づきを得られるはずです。

臨床実習では今まで学校で学んできたことを実際に見て触れることで、自分の中にきちんと知識として落とし込み、理解を深めることができます。若林歯科の実習は教科書からは学ぶことのできない患者様とスタッフの関わり方を見て・聞いて・感じて欲しいと思っています。実際に自分自身が患者様と接することにより学ぶことも多くあると思います。

そして、不安いっぱいだった実習初日が最終日には「成長できた！」と私たちスタッフが感じるのでなく、学生さん自身が実感できる実習となるように医院全体でこれからもサポートさせていただきます。

私たち若林歯科のスタッフもまだまだ勉強中で至らない点もありますが、みなさんとの関わりで共に成長していきたいと思っております。

未来の歯科界を共に盛り上げていきましょう！！

1 第1期臨床実習から

1) 自己評価

昨年度に引き続き、1期臨床実習終了後に自己評価（33項目）を実施し

ました。以下は各項目を合算した平均値です。

「基本的事項に関する評価」

① 「社会人としての基本姿勢」 の 7 項目

(返事や時間厳守・言葉遣いなど)は、「よくできた」55.6%、「できた」29.3%「あと少し」13.9%、「できなかつた」1.1%でした。当たり前のことが当たり前にできることの大切さ、難しさを改めて実感しているようでした。さらなる自覚や責任をもった行動が望されます。

②「患者理解」の2項目（相手の立場に立ち配慮するなど）は、「よくできた」7.9%、「できた」36.8%、「できなかつた」5.3%でした。

⑧「学習姿勢」の6項目（積極的に取り組むなど）は、「よくできた」30.7%、「できた」43%、「あと少し」24%、「できなかった」2.2%でした。1日1日の積み重ねを大切にし、実りある実習となるよう期待しています。

「実習帳に関する評価」

5項目（実習内容に沿って要点をまとめて書くなど）の平均は、「よくできた」3.7%、「できた」38.5%、「あと少し」6.3%、「できなかつた」1.6%でした。

1期臨床実習まとめの際、『わたしの臨床実習帳紹介』というテーマで代表の学生に発表をしてもらいました。実習帳の一部を印刷・配布し、記録する時の工夫やポイント、記録に要する時間などを話してもらいました。自身の記録と比較し、参考になったとの意見がありました。

「歯科診療補助に関する評価」

13項目（適切なバキューム操作、一連の流れを理解し器材を準備するなど）は、「よくできた」17.8%、「できた」40.5%、「あと少し」31%、「できなかった」4.5%、

「実施していない」6.3%でした。

自分で自分の行動を評価することで、実習を振り返り、今後の学習に必要な点を明確にできたのではないかと思います。2期の実習に生かされることを切に願います。

2) 反省点

「自信がなく積極的に動くことができなかつた」が一番多く、次に「患者さんとコミュニケーションがうまく取れなかつた」「器具・器材が正しく準備できなかつた」などがありました。これら反省を目標につなげる学生が大半でした。

3) 感想

「何が分からぬかとも分からぬ状態の私に1から分かりやすく教えていただき、少しづつできることが増えていき嬉しかったです。」「できることが増えた分、できないことがはっきりしたので、苦手なことでもチャレンジしていきたいです。」
「歯科衛生士の方々をはじめ、スタッフの皆さんととても丁寧で優しく、実習以外の場面でも人に優しく接することができるようになりました。」

2 1期臨床実習報告会

今年度も“実習報告会”が始まりました。発表の際のアドバイスや資料提供等、ご協力をいただいた実習先の皆様、ありがとうございました。

3 主な行事予定

- ・2期臨床実習 1/16(月)～3/15(水)
 - ・国家試験 3/ 5(日)
 - ・卒業式 3/ 9(木)
 - ・終業式 3/16(木)